

イナビル吸入懸濁用 160mg セット

【この薬は？】

販売名	イナビル吸入懸濁用 160mg セット Inavir for Inhalation Suspension Set
一般名	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 Laninamivir Octanoate Hydrate
含有量 (1バイアル中)	ラニナミビルオクタン酸エステルとして 160mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗インフルエンザウイルス剤と呼ばれるグループに属する吸入薬です。
- ・この薬は、A型およびB型インフルエンザウイルスの増殖を抑えることでインフルエンザの症状を緩和します。
- ・次の目的で処方されます。

A型またはB型インフルエンザウイルス感染症の治療

- ・この薬の予防投与における有効性および安全性は確立していません。
- ・この薬は、C型インフルエンザウイルス感染症には効果がありません。
- ・この薬は、細菌感染症には効果がありません。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

過去にイナビル吸入懸濁用 160mg セットに含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患等）のある人
- ・基礎疾患（糖尿病を含む慢性代謝性疾患、慢性腎機能障害、慢性心疾患）のある人、あるいは免疫低下状態の人など
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無または種類にかかわらず、インフルエンザウイルス感染症にかかっている時には、異常行動を発現した例が報告されています。

異常行動による転落等の万が一の事故を防止するために以下の点について理解できるまで十分に説明を受けてください。

- ・インフルエンザウイルス感染症にかかっている時には、異常行動があらわれるおそれがあります。
- ・自宅において療養を行う場合、少なくとも発熱から2日間、保護者の方は転落等の事故に対する防止対策を行うよう、ご配慮ください。
- ・転落等の事故に至るおそれのある重度の異常行動については、就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多いこと、発熱から2日間以内に発現が多いこと、が知られています。

○この薬には併用に注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬はネブライザ（吸入器）を用いる吸入薬です。決して飲んだり、注射したりしないでください。

●使用量および回数

- ・通常、成人および小児の使用する量は、次の通りです。

1回の使用量	1バイアル
使用回数	1日1回
使用期間	1日間

- ・この薬はインフルエンザ様症状があらわれてから48時間以内に使用が開始されます。症状があらわれてから48時間以降に使用しても効果が期待できません。

●どのように使用するか？

- ・ネブライザを用いて口から吸入して使用します。
- ・患者さんまたは保護者の方は、使用方法について十分理解できるまで医師や薬剤師より説明を受けてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を吸入した後に失神（気を失う）やショック症状（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）がおこる可能性があります。この薬を吸入するときは、くつろいだ状態（例えば座った状態）で吸入してください。
- ・この薬を吸入した後に気管支攣縮（きかんしれんしゆく）（突然の息切れ、息をするときヒューヒューと音がする、息がぜいぜいする）がおこったり呼吸機能が低下するおそれがあります。慢性呼吸器疾患（気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患など）のある人は、これらの症状がおこったら医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
気管支攣縮 きかんしれんしゆく	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
異常行動 いじょうこうどう	異常行動、普段と違うとつぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する
皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス-ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステイブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白
眼	目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、唇や口内のただれ、喉の痛み
胸部	動悸、息苦しい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ、息切れ
手・足	手足が冷たくなる、関節の痛み
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ
その他	異常行動、普段と違うとっぴな行動をとる、急に走り出す、徘徊する

【この薬の形は？】

性状	白色の粉末を含む塊状の凍結乾燥製剤である。 生理食塩液を加えると白色の懸濁液となる。
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ラニナミビルオクタン酸エステル水和物
添加剤	チロキサポール

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状や使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp/>)
製品情報センター
電話：0120-693-132
受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）